

【豊頃町教育委員会・豊頃町教育研究所】

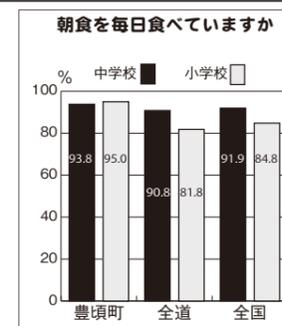
平成30年度
全国学力・学習状況調査の
結果の分析と考察

豊頃町の児童生徒の 学力や生活習慣は？

本年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語・算数（数学）と理科（前回H27年実施）の3教科で全国学力・学習状況調査が実施され、分析結果が7月下旬に示されました。この結果を基に、教育委員会・教育研究所では、町内各校の学力のより確実な定着に向けた取組を尊重しつつ、豊頃町全体の教育環境づくりの観点から、子どもの学びを育む学校、家庭、地域の更なる連携に期待をし、下記の通り分析結果をまとめました。

● 豊頃の子どもの学力等の傾向

小学校	国語、算数、理科、ともに全体正答率が全道・全国平均を上回る結果となりました。どの領域においても着実に学力の定着が図られてきています。特に、国語では「書くこと」の領域、算数では「数量関係」の領域、理科では「物質」の領域がしっかりと定着してきました。
中学校	国語、数学、理科、ともに全体正答率が全道・全国平均を上回る結果となりました。国語B（活用）の「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学A（知識）「数と式」、数学B（活用）「資料の活用」は、やや全道・全国平均を下回りましたが、そのほかの領域は全道・全国平均を上回り、着実に習得できています。理科は、すべての分野・領域で全道・全国平均を上回り、着実な習得ができています。



小学校

国語A（知識）・国語B（活用）
◇国語Aでは、「話すこと・聞くこと」の領域において、学習内容の定着に繋がっています。
◇国語Bでは、「話すこと・聞くこと」の領域で、話し相手の意図を考えながら、話の内容を聞く力が育っています。

算数A（知識）・算数B（活用）
◇算数Aでは、「量と測定」の領域の理解が見られました。基礎的な計算技能が定着すると、更に良くなります。
◇算数Bでは、「数と計算」の領域で、日常生活の問題の解決のために、複数の情報を関連付けて論理的に考察し、数学的に表現する力が育ってきています。

理科
◇「生命」の領域の理解が高くなっています。知識や理解したことを基に分析したり、自分の考えを記述したりすることができています。

教科書の傾向

中学校

国語A（知識）・国語B（活用）
◇A・Bともに「話すこと・聞くこと」「読むこと」において、全道・全国平均を上回っており、バランスのとれた高い国語の力が身につけています。

数学A（知識）・数学B（活用）
◇A・Bともに、4領域「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」において概ね定着が図られていますが、「数学的な技能」において課題が見られました。
◇授業中のミニテストの継続的な取組により、基礎的な内容の定着が図られてきています。

理科
◇どの領域の内容も全道・全国平均を大きく上回り、知識や技能が身につけてきています。特に用語テストや単元テストの取組により、「生物・化学・物理」の3領域についての知識・理解が深まってきています。

● 学習習慣や生活習慣の傾向

～児童生徒質問紙調査から～

<小学校>

- ◇生活面では、基本的な生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）に、改善が見られてきています。
- ◇宿題には、しっかり取り組んでいます。自分で計画を立てて勉強したり、読書したりする時間が短い傾向にあります。計画的に学習や読書をする習慣を身につけることが必要です。
- ◇住んでいる地域の行事やボランティア活動に参加している児童が多く見られます。また、地域の大人の関わり（一緒に遊ぶ、勉強やスポーツを教えてもらうなど）も多くあります。

<具体的な方策>

- ◇学校では、「分かる・楽しい授業づくり」に努め、子どもの学ぶ意欲を高め、学ぶ楽しさを実感させていきます。また家庭とも連携して、学習の方法や学習習慣を身につけさせるよう取り組みます。
- ◇家庭では、家庭生活の中に「家庭学習と読書」を位置づけ、テレビやゲームをする時間と学習や読書に取り組む時間とのバランスを見直し、基本的な生活習慣が定着するようご指導願います。

<中学校>

- ◇食事や起床・就寝時刻など、基本的な生活習慣が着実に定着してきています。
- ◇家庭学習では、ほとんどの生徒が宿題や復習を中心にしっかり取り組んでいます。自分で計画を立てて勉強に取り組むことがやや苦手で、学校の授業以外で勉強する時間は短い傾向にあります。
- ◇土曜日や日曜日など学校が休みの日には、部活や勉強・読書に取り組む生徒の割合が高くなっています。

<具体的な方策>

- ◇これまでと同様、自学ノートを提出させたり、テスト前に学習計画表を作成させたりするなど、家庭学習の定着を目指します。また、余暇の時間と学習に取り組む時間とのバランスを見直し、基本的な生活習慣が定着するよう家庭と連携した取組に努めます。
- ◇授業や学級活動、道徳科、総合的な学習の時間、部活動などを通して、自分の生き方や将来について考えられるように指導します。また、生徒の自己肯定感を一層高め、自信をもって物事に取り組める生徒を育てます。

● 児童生徒をより伸ばすための学校の取組（改善策）

<小学校>

【国語】

- ・話し合い活動等の言語活動の場では、自分の考えを説明したり、書いたりする活動を取り入れます。
- ・身近な図書を計画的に活用する読書活動を取り入れ、目的や意図に応じた効果的な読み方ができるような学習活動を工夫します。

【算数】

- ・計算の意味や計算の仕方を、図や数直線などを用いて関連付けながら考え、説明できるような学習を工夫します。
- ・まとめた問題やプリント学習で基礎的・基本的な知識・技能の定着を確認し、必要な補充指導を行います。

<中学校>

【国語】

- ・学習した内容などについて、適切に表現できるように促す指導法を工夫し、チームティーチングなどを活用して、きめ細かく指導します。
- ・場面に応じて交流の時間を設けるなど、より主体的に、積極的に学習に取り組めるような課題提示や授業展開を工夫します。



【数学】

- ・基礎的、基本的な知識、技能を身につけるためのミニテストを継続して行います。
- ・互いに問題の解き方を言葉で説明し合い、ノートにまとめる学習を多く行います。

【理科】

- ・実験・観察等において現象・結果を記録・分析・整理する際、言葉で表現し説明する場面を設定して表現力（記述力）を高める指導を工夫します。

豊頃町の児童生徒の学習・生活の充実のために

学校では、学習規律の定着と同時に、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得に努めるとともに、これを基盤とした体験型・課題解決型の学習活動を多く取り入れるなどし、子ども自らが主体的に学び、一人一人に自分の良さを見つけさせるようにしていきます。そのために、分かりやすい授業づくり、宿題の質を高めるなど、子どもたちが集中して学ぶことができるよう教育環境を整えます。また、「主体的・対話的で深い学びからの授業改善」に努め、子どもの学ぶ意欲を高め、学ぶ楽しさを実感させていきます。あわせて、家庭と連携して、学び方や学習習慣を身につけさせるよう取り組みます。

家庭では、学校と連携・協力して、子どもの生活習慣等（「早寝・早起き・朝ご飯」、手伝い、テレビやゲームをする時間）を見直すとともに、家庭学習の習慣化に取り組ましましょう。

地域では、学校行事や四季折々の町内行事、日常の活動場面などにおいて、積極的に活動している子どもたちへの温かい励ましや教育活動へのご協力をお願いいたします。

問合せ先 教育委員会教育課学校教育係 ☎ (579) 5801